

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	地域高規格道路 南阪奈道路 一般国道165号 大和高田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局	
起終点	自：奈良県香芝市穴虫 至：奈良県橿原市四条町	延長	14.4km			
事業概要						
<p>一般国道165号は、大阪市北区を起点とし、奈良県大和平野地域の南部を經由して三重県津市に至る主要幹線道路である。</p> <p>大和高田バイパスは、奈良中南部と大阪経済圏の連結強化や関西国際空港へのアクセス向上を図る地域高規格道路南阪奈道路の一部を構成するとともに、一般国道165号香芝市～橿原市間の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ることを目的とした道路である。</p>						
S43年度事業化	S47年度都市計画決定 (S61、H3、H9年度変更)	S47年度用地着手	S48年度工事着手			
全体事業費	930億円	事業進捗率	約89%	供用済延長	12.1km	
計画交通量	32,400台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 90/2,139億円 事業費：77/2,055億円 維持管理費：13/84億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 271/2,419億円 走行時間短縮便益：241/2,098億円 走行経費減少便益：19/264億円 交通事故減少便益：12/57億円	基準年 平成25年		
感度分析の結果						
【事業全体】 交通量：B/C=0.9~1.4(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.1(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.2(事業期間±20%)			【残事業】 交通量：B/C=2.5~3.6(交通量 ±10%) 事業費：B/C=2.8~3.3(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=2.9~3.1(事業期間±20%)			
事業の効果等						
①交通の円滑化						
<ul style="list-style-type: none"> ・大和高田バイパスの整備により、現道165号の交通量が減少し、旅行速度は向上したが、未整備区間に並行する（主）御所香芝線の交通量は大和高田バイパス部分開通前より増加。 整備により、（主）御所香芝線の交通量減少・交通の円滑化が期待。 						
②地域医療の支援						
<ul style="list-style-type: none"> ・香芝市～奈良県立医科大学附属病院高度救命救急センターへの所要時間が短縮（24分→18分） 						
③特急停車駅へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> ・橿原市～天王寺駅への所要時間が短縮（69分→48分） 						
④空港へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> ・橿原市～関西国際空港への所要時間が短縮（92分→70分） 						
⑤特定重要港湾へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> ・橿原市～堺泉北港への所要時間が短縮（74分→52分） 						
⑥日常生活圏中心都市へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> ・大和高田市～橿原市への所要時間が短縮（18分→17分） 						
⑦主要観光地へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> ・沿線へのアクセス向上により観光客の増加が見込まれる (藤原宮跡・今井町・橿原神宮他：約398万人/年(H24)) 						
⑧三次医療施設へのアクセス向上						
<ul style="list-style-type: none"> ・香芝市～奈良県立医科大学附属病院高度救命救急センターへの所要時間が短縮（24分→16分） 						
関係する地方公共団体等の意見						
奈良県知事の意見：						
<p>一般国道165号大和高田バイパスは、南阪奈道路の一部を構成し、西名阪自動車道、京奈和自動車道等とともに、大和平野の広域幹線道路ネットワークを形成する重要な道路です。</p> <p>また、中和幹線及び国道165号香芝柏原改良と一体的に整備されることで、近畿自動車道等とのネ</p>						

ネットワーク機能の発現により、中南和地域と関西都市圏との連携が強化され、産業振興や地域の活性化に寄与するものです。

一方、未整備となっている4工区については、主要地方道御所香芝線をはじめとした周辺道路の混雑緩和や交通安全の確保などの効果が期待され、必要性が認められるものの、社会情勢や周辺交通状況の変化、事業の進捗見通し等を踏まえた代替案を検討することも重要と考えます。

以上のことから、対応方針(案)のとおり、事業継続としつつ、計画の変更についても検討を行っていただいた上で、地域にふさわしい事業を実施していただくようお願いします。

なお、代替案の検討にあたっては、県、市とも十分に協議調整を図っていただくようお願いします。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道165号大和高田バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

大和高田バイパス、南阪奈道路の開通後、現道165号の交通量が減少。

未整備区間に平行する(主)御所香芝線では渋滞が発生。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに12.1kmを開通済み、用地進捗率：約92%、事業進捗率：約89%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

未整備区間に並行する(主)御所香芝線の渋滞緩和のため、引き続き事業の必要性が認められる。未整備区間については、現道165号の交通量減少等の状況変化を受け、ルート変更も含め、県・市等の地元住民等に対し意見を聴取しながら検討を進める。

施設の構造や工法の変更等

今後は県、市及び地域住民の意見も反映した事業計画とするため、ルート変更も含め、県・市等の関係機関や地元住民に対し意見を聴取しながら検討を進める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

再評価結果(平成26年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

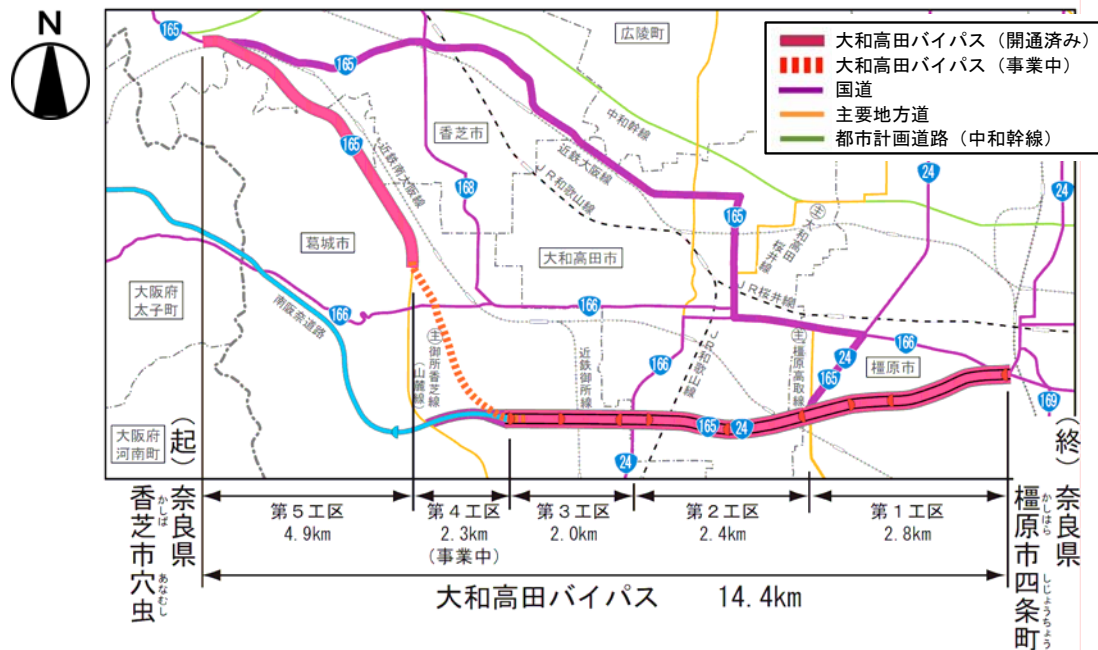
事業名	地域高規格道路 南阪奈道路 一般国道165号 大和高田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：奈良県香芝市穴虫 至：奈良県橿原市四条町	延長	14.4km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。